

令和7年度 第4回 治験審査委員会

1. 日時：令和7年11月17日(月) 午後4時30分～午後5時20分

2. 場所：事務局内会議室4

3. 出席者 14名

委員長	医師	副医局長兼臨床研究部長	木村 智樹
副委員長	薬剤師	薬剤部長兼臨床研究部次長	山田 哲也
委員	医師	副院長	大河内 治
	医師	副医局長兼脳神経内科主任部長	湯浅 浩之
	医師	循環器内科部長兼臨床研究部次長	神原 貴博
	医師	整形外科部長	遠藤 浩二郎
	技師	臨床検査部技師長	石原 誉志美
	看護師	看護管理部長	大矢 なぎさ
	看護師	看護外来看護師主任	野田 里美
	事務	事務局長	熊谷 由美
	事務	財政課長兼財務係長兼管財経理係長	加藤 幹也
	事務	臨床研究部治験管理室	加藤 淳人
外部委員		元公立瀬戸旭看護専門学校事務局長	横江 俊次
		元瀬戸市ノベルティこども創造館館長	加藤 流慈

欠席者 2名

医師	健康管理部主任部長	松浦 哲生
医師	腎臓内科主任部長	稲葉 慎一郎

審議については、病院治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4ならびに医師主導治験における治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4を満たしたため、会が成立審議を始めた。

4. 議題

【審議事項】

- 1) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管系疾患の既往を有する患者を対象とした pelacarsen(TQJ230)の第Ⅲ相継続投与試験

(ノバルティスファーマ)

⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 2) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症（IPF）患者を対象に、標準治療の併用又は非併用下で BI 765423 を投与したときに肺機能への効果がみられるかどうかを検討する試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：修正の上承認

- 3) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管疾患の既往を有する患者を対象とした TQJ230 の第Ⅲ相試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

4) アムジェン株式会社の依頼による心血管疾患を対象とした Olpasiran (AMG890) の第 III 相試験

(アムジェン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

5) 特発性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

6) 進行性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

7) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者及び進行性肺線維症患者を対象とした BI 1015550 の長期継続第Ⅲ相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

8) 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患の患者を対象として治験薬の安全性及び有効性を評価するプラットフォーム試験

(メドペイス・ジャパン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

9) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に BI 1819479 が肺機能を改善するかどうかを検討する試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

10) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症又は進行性肺線維症患者を対象に BI 1839100 が咳嗽を改善させるかどうかを検討する試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

11) MD-712 第Ⅱ/Ⅲ相試験

(持田製薬)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

(終了報告)

- 1) アストラゼネカ社の依頼による慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたベンラリズマブの第Ⅲ相試験

(アストラゼネカ)

- 2) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症又は進行性肺線維症患者を対象に BI 1839100 が咳嗽を改善させるかどうかを検討する試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

(開発中止等に関する報告)

- 1) 入院中の急性心不全患者にBMS-986231を投与する第2相試験

(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

- 2) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症又は進行性肺線維症患者を対象にBI 1839100が咳嗽を改善させるかどうかを検討する試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

- 3) アストラゼネカ社の依頼による慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたベンラリズマブの第Ⅲ相試験

(アストラゼネカ)

【次回開催日】

令和8年1月26日（月） 16時30分より